

# 2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2017年11月14日

# 2018年3月期 第2四半期 サマリー

## 1. 市場環境

政治・経済の動向に不透明感は残るものの、全般的にインフラ需要に加え、設備投資の持ち直しにより、総じて緩やかな回復基調が継続

## 2. 2018年3月期 第2四半期業績

グローバルでの旺盛な設備投資需要を捉え、グループ全体で増収。国内は基幹システム入替えに伴う一時的な影響を受けたものの、インフラ関連を中心に受注は好調。

売上高	24,661百万円	(前年同期比 +8.7%)	(開示予想 23,500百万円 +4.9%)
営業利益	1,269百万円	(前年同期比 ▲11.7%)	(開示予想 1,200百万円 +5.8%)
当期純利益※	532百万円	(前年同期比 +46.1%)	(開示予想 500百万円 +6.4%)

※親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レート 平均レート 1ドル=111.1円

## 3. 総括

- (1) インフラ投資、民間設備投とも需要はグローバルで堅調、中国経済の底打ち感
- (2) 基幹システム入替えに伴う国内生産活動低下の影響は一時的、早期収束を目指す
- (3) 天然資源市場、為替水準、地政学的リスクなど外部環境リスクは引き続き注視

1

## 2018年3月期 第2四半期 決算報告

2

## 2018年3月期 見通し

3

## 参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2013年3月期-2017年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 2018年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2017/3期 Q2 累計 (4~9月)	2018/3期 Q2 累計 (4~9月)	前期比
売上高	22,695	24,661	8.7%
営業利益 (営業利益率)	1,437 (6.3%)	1,269 (5.1%)	▲11.7%
営業外収益	87	85	
営業外費用	565	※1 474	
経常利益 (経常利益率)	959 (4.2%)	879 (3.6%)	▲8.3%
特別利益	※2 489	—	
法人税等	※3 1,070	308	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	364 (1.6%)	532 (2.2%)	46.1%
EBITDA =営業利益+償却費	2,444	2,451	

注 為替レート (2017/3期Q2→2018年/3期Q2) :

USD 105.3円 → 111.1円 CAD 81.2円 → 85.6円 EUR 118.2円 → 126.3円 RMB 17.1円 → 16.4円

※1 非連結のイタリア子会社収支177百万円を持分法による投資損失として計上

※2 買収したPWB Anchor社の純資産の評価額が、取得価額を上回ったことによる「負ののれん」発生益を計上

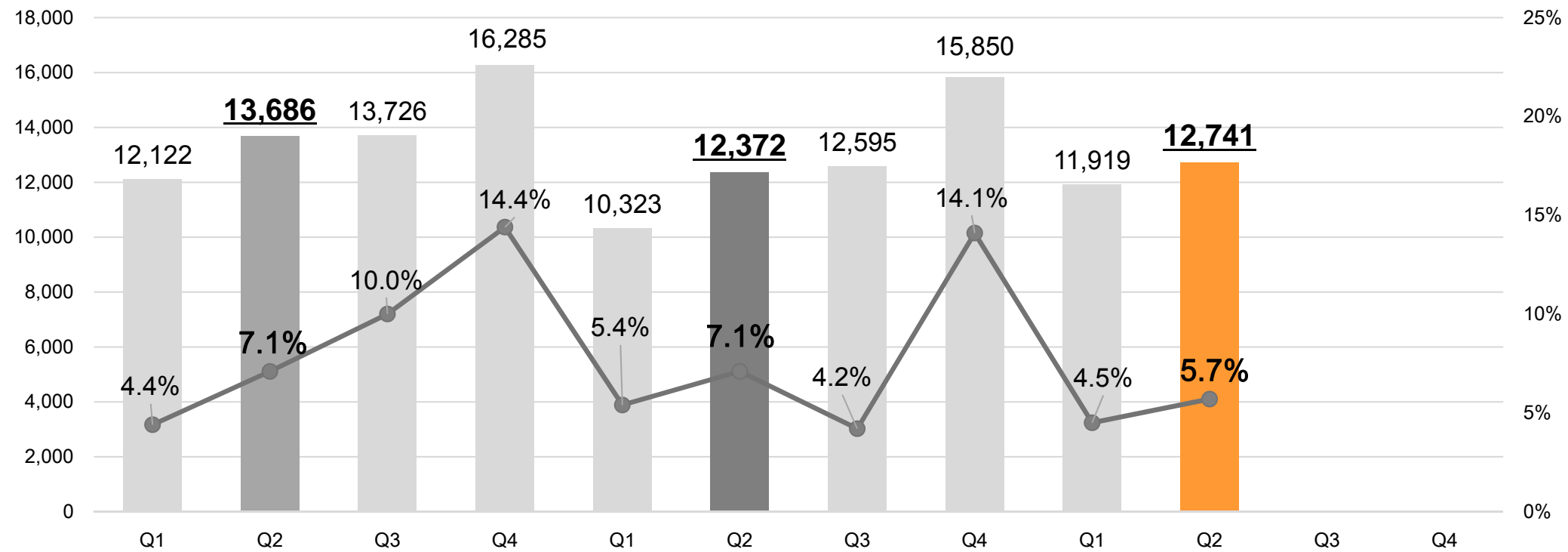
※3 法人税等1,070百万円 (法人税等調整額843百万円を含む) を計上

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

## グローバルでの需要の高まりを捉え増収

(単位：百万円)

■ 売上高      ● 営業利益率



営業利益

538	<b>966</b>	1,371	2,345	561	<b>876</b>	532	2,239	538	<b>730</b>		
2016/3期 売上高 55,821百万円 営業利益 5,221百万円				2017/3期 売上高 51,141百万円 営業利益 4,208百万円				2018/3期 (予) 売上高 53,000百万円 営業利益 4,400百万円			

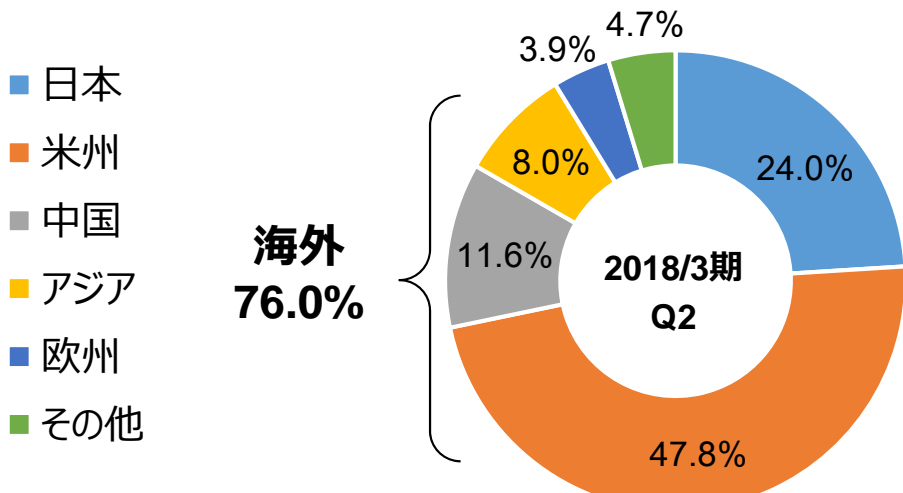
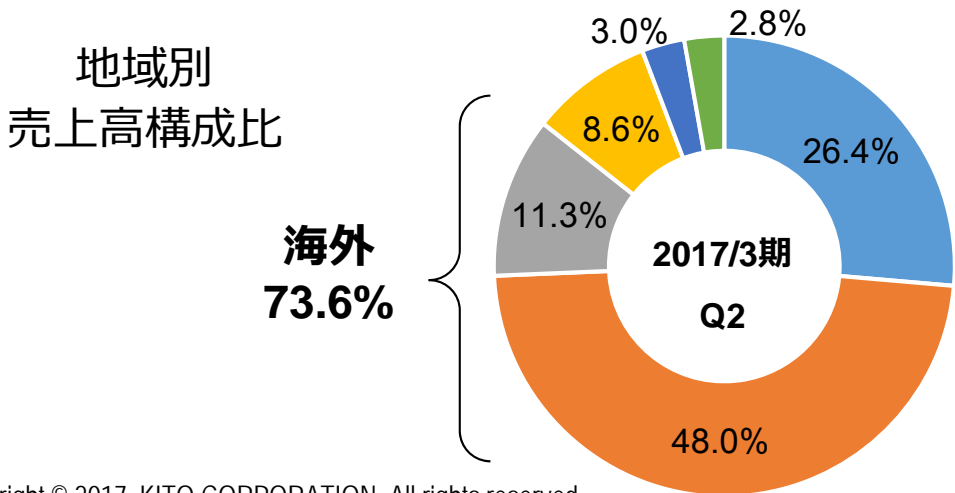
# 地域別の状況

## 地域分散された事業ポートフォリオを展開、グローバルで増収

(単位：百万円)	2016/3期 Q2		2017/3期 Q2		2018/3期 Q2		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	25,809	100.0%	22,695	100.0%	<b>24,661</b>	<b>100.0%</b>	1,966	8.7%
<b>日本</b>	5,520	21.4%	5,984	26.4%	<b>5,925</b>	<b>24.0%</b>	▲59	▲1.0%
<b>米州</b>	12,853	49.8%	10,885	48.0%	<b>11,781</b>	<b>47.8%</b>	895	8.2%
<b>中国</b>	4,159	16.1%	2,561	11.3%	<b>2,857</b>	<b>11.6%</b>	295	11.6%
<b>アジア</b>	2,082	8.1%	1,956	8.6%	<b>1,963</b>	<b>8.0%</b>	6	0.3%
<b>欧州</b>	843	3.3%	672	3.0%	<b>968</b>	<b>3.9%</b>	295	44.0%
<b>その他地域</b>	350	1.4%	634	2.8%	<b>1,165</b>	<b>4.7%</b>	530	83.7%

注 為替レート (2017/3期 Q2→2018年/3期 Q2) :

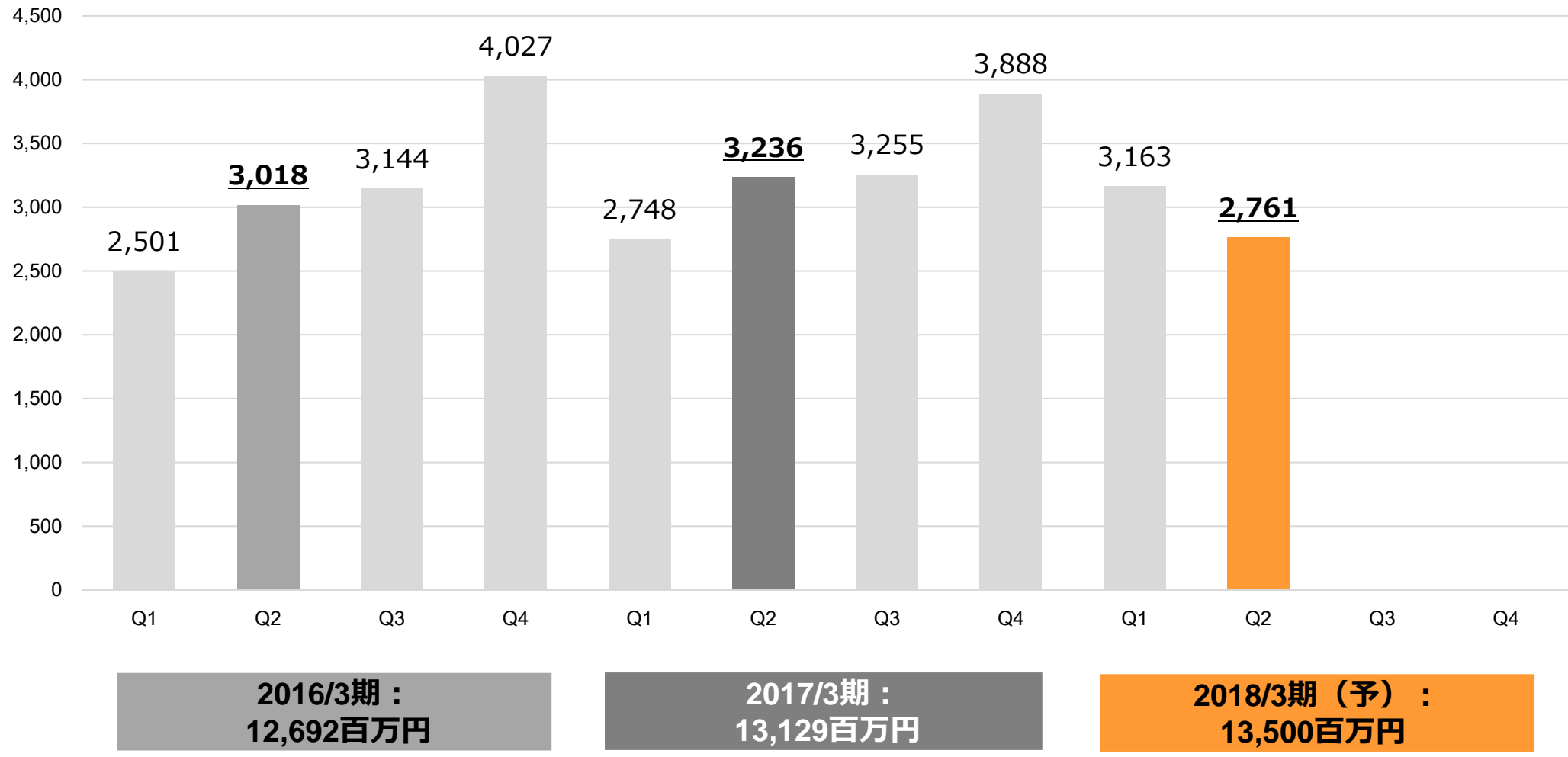
USD 105.3円 → 111.1円    CAD 81.2円 → 85.6円    EUR 118.2円 → 126.3円    RMB 17.1円 → 16.4円



# 地域別売上高（日本）

- 基幹システム入替えに伴いQ1での前倒し出荷を実施、上期は前年並み
- 足もとではインフラ整備、民間設備投資向け、ともに受注が堅調

(単位：百万円)

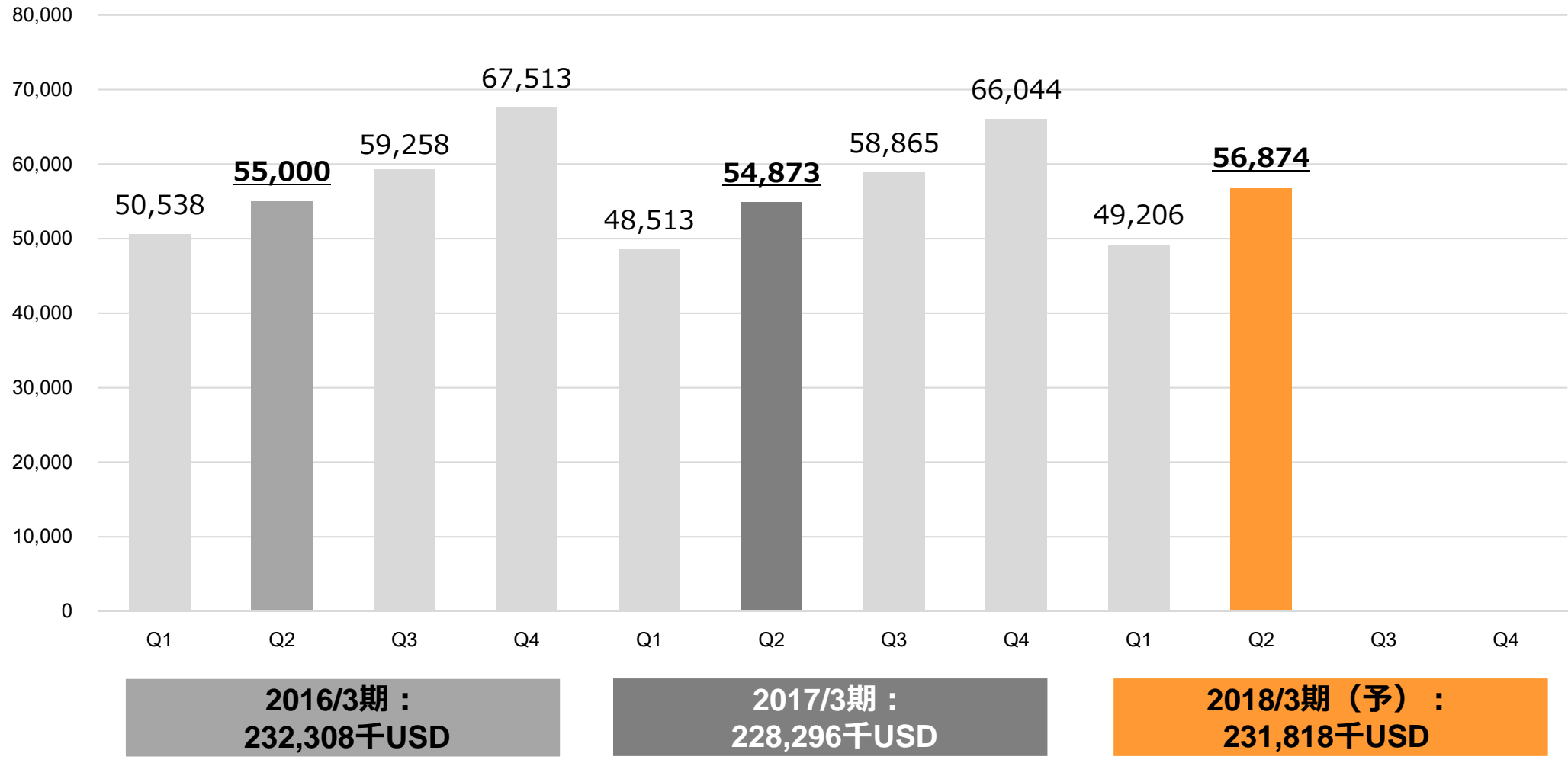


# 地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

- 米政権運営、資源価格など不安要素はあるが、  
製造業の設備投資、インフラ関連需要とも底堅く推移

（単位：千USD）



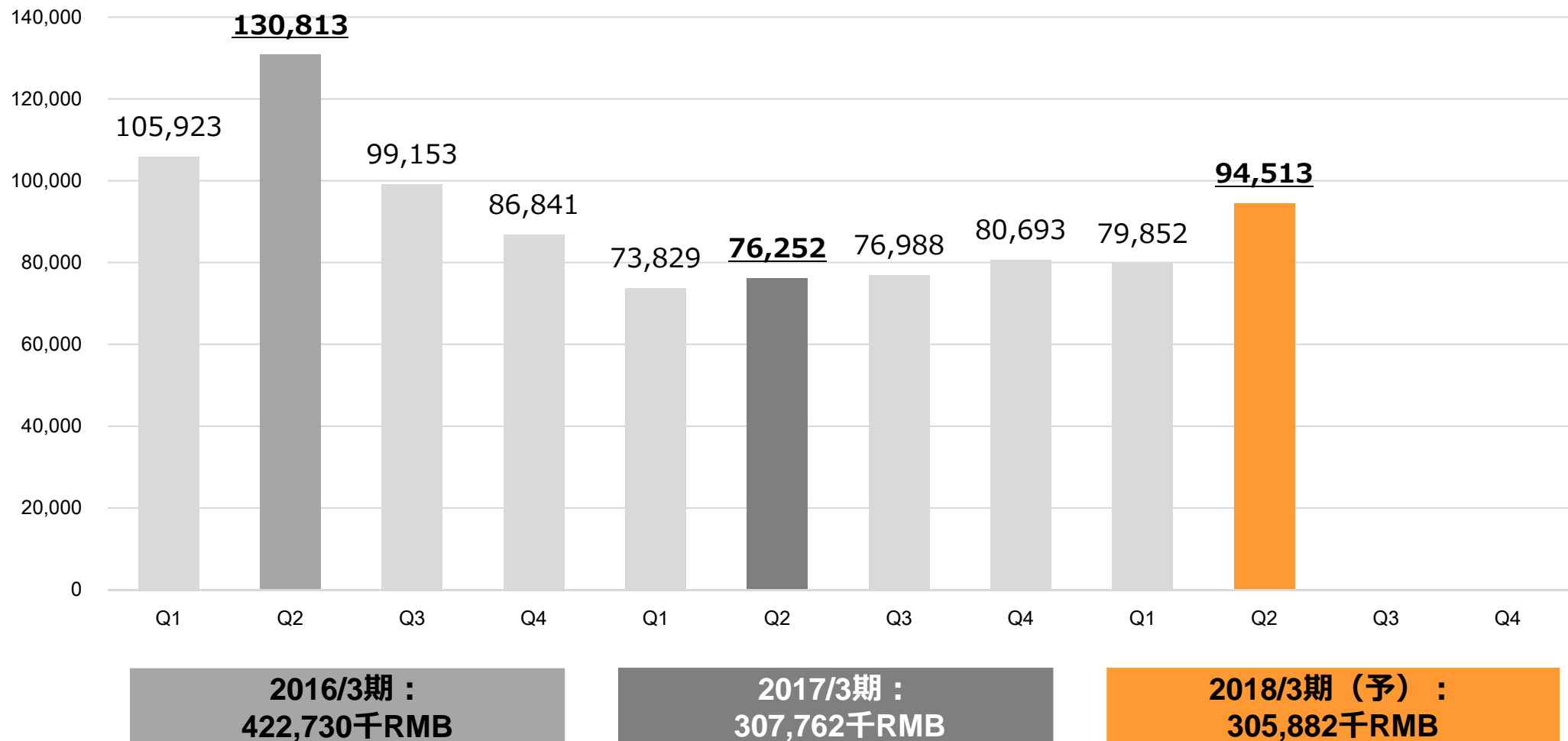


# 地域別売上高（中国）

※中国は1-12月決算

- 景気減速感にも歯止めが掛かり、低調に推移した需要も底打ち感

（単位：千RMB）

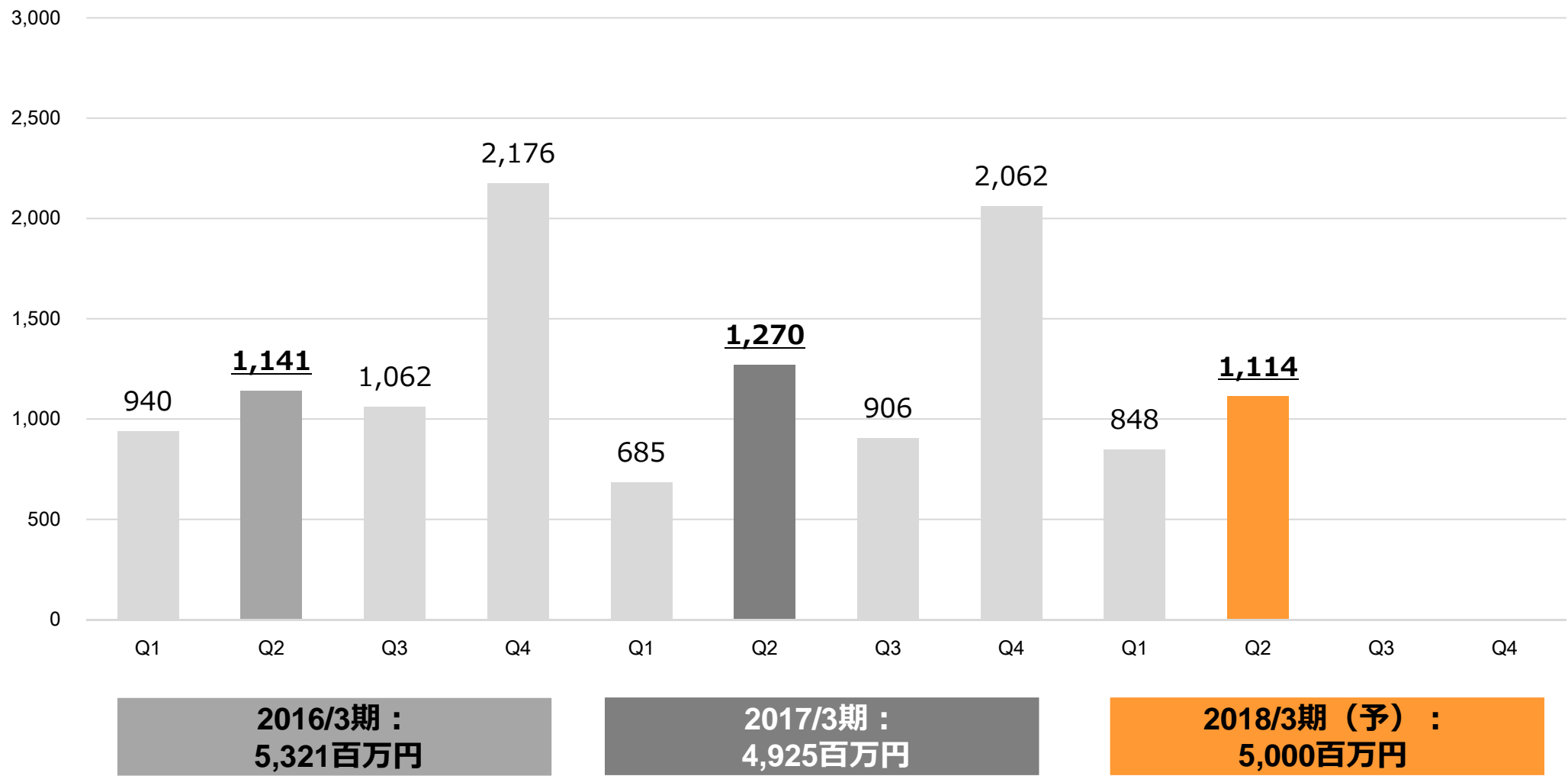


# 地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国は1-12月決算

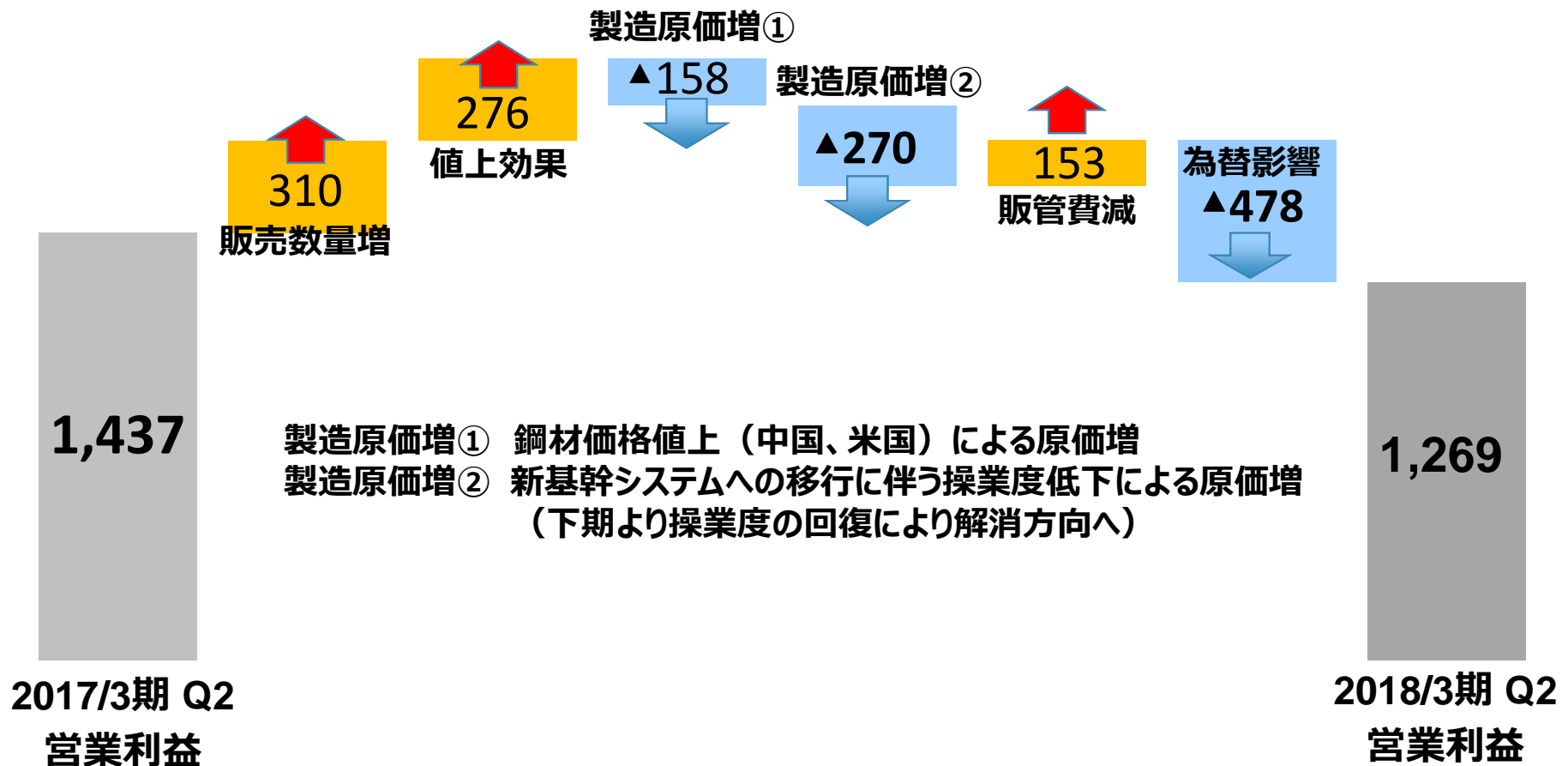
- 韓国では、ディスプレイ向けクリーンルーム用クレーンの受注が好調を維持
- 各地域では、サービス事業、ホイスト販売の強化に注力したことで収益性改善

（単位：百万円）



# 営業利益の比較

(単位：百万円)



# 2018/3期 Q2 連結貸借対照表

単位：百万円	2017/3期 期末	2018/3期 Q2	増減額
<b>流動資産</b>	37,960	38,088	128
現金・預金	9,069	9,401	331
受取手形及び 売掛金	11,139	10,141	▲997
たな卸資産	15,402	16,367	965
その他	2,348	2,177	▲170
<b>固定資産</b>	22,177	21,931	▲245
有形固定資産	11,948	11,656	▲291
無形固定資産	7,658	7,547	▲111
投資その他資産	2,569	2,727	157
<b>資産合計</b>	60,137	60,019	▲117

単位：百万円	2017/3期 期末	2018/3期 Q2	増減額
<b>流動負債</b>	20,023	16,377	▲3,646
支払手形及び 買掛金	5,438	6,046	608
短期借入金	9,879	5,625	▲4,254
その他	4,705	4,705	▲0
<b>固定負債</b>	18,874	21,980	3,105
長期借入金	14,298	17,414	3,115
その他	4,575	4,565	▲10
<b>純資産合計</b>	21,239	21,662	423
<b>負債純資産合計</b>	60,137	60,019	▲117

# 連結キャッシュ・フロー

	2017年 3月期2Q	2018年 3月期2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	972	2,953	1,980
投資活動による キャッシュ・フロー	△791	△869	△78
財務活動による キャッシュ・フロー	△928	△1,757	△829
現金および現金同等物 に係る換算差額	△410	3	414
現金および現金同等物 の増減額	△1,157	330	1,487
現金および現金同等物 の期末残高	7,364	9,389	2,025

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 :	879
減価償却費 :	1,017
売上債権の減少 :	1,046
たな卸資産の増加 :	△805

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 :	△408
無形固定資産の取得による支出 :	△298

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出	△7,075
長期借入れによる収入 :	5,700

1

2018年3月期 第2四半期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2013年3月期-2017年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 2018年3月期の見通し

## 日 本



### 市場環境

- 民間設備投資が継続し、持続的な成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

### 取り組み

- 新製品の導入、品揃え拡大を継続
- クレーンビルダーとの連携強化
- 新基幹システムの早期安定化

## 米 州



### 市場環境

- 需要は幅広い産業で底堅く推移
- インフラ関連投資、エネルギー関連産業に期待

### 取り組み

- 製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
- 現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

# 2018年3月期の見通し

中 国



## 市場環境

- 景気減速が底打ち。更なる需要回復を期待

## 取り組み

- グローバル製品の生産拡大
- コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



## 市場環境

- 依然として設備投資の回復が認められず

## 取り組み

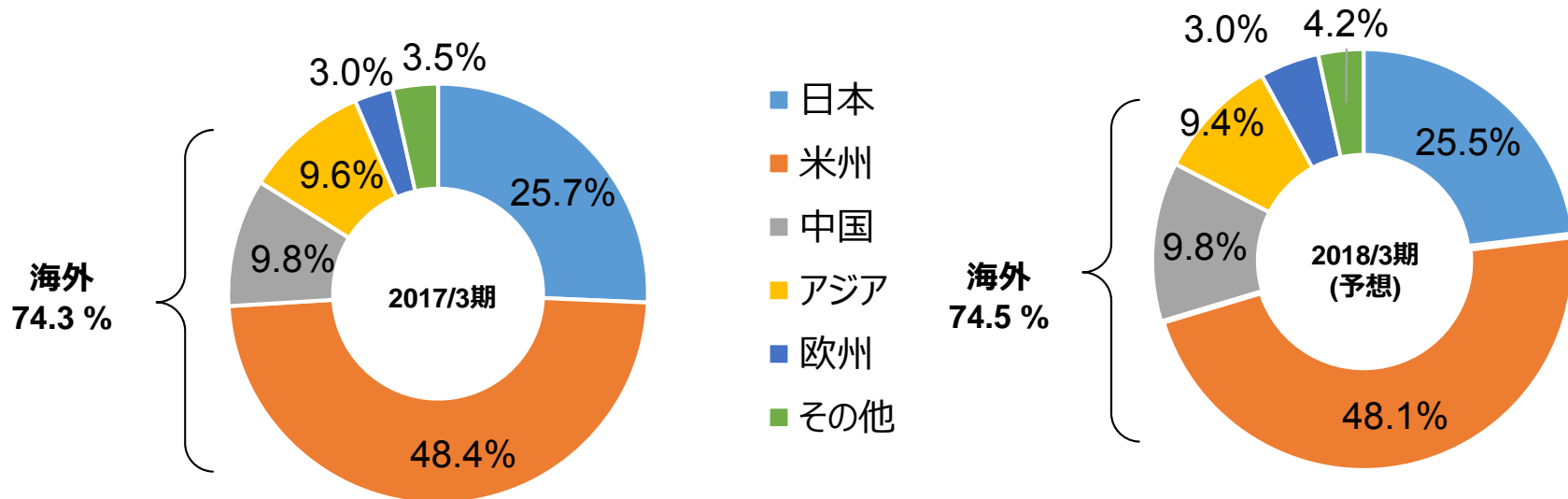
- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化



# 2018年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2017/3期		2018/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	51,141	100.0%	<b>53,000</b>	<b>100.0%</b>	1,858	3.6%
日本	13,129	25.7%	<b>13,500</b>	<b>25.5%</b>	371	2.8%
米州	24,742	48.4%	<b>25,500</b>	<b>48.1%</b>	758	3.1%
中国	5,034	9.8%	<b>5,200</b>	<b>9.8%</b>	166	3.3%
アジア	4,925	9.6%	<b>5,000</b>	<b>9.4%</b>	74	1.5%
欧州	1,523	3.0%	<b>1,600</b>	<b>3.0%</b>	77	5.1%
その他地域	1,785	3.5%	<b>2,200</b>	<b>4.2%</b>	415	23.2%

地域別  
売上高構成比



# 2018年3月期 業績予想

(単位 百万円)	2017/3期	2018/3期	前期比
売上高	51,141	53,000	3.6%
営業利益 (営業利益率)	4,208 (8.2%)	4,400 (8.3%)	4.5%
経常利益 (経常利益率)	3,249 (6.4%)	3,700 (7.0%)	13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	1,897 (3.7%)	2,500 (4.7%)	31.7%
EBITDA =営業利益+償却費	6,340	7,000	

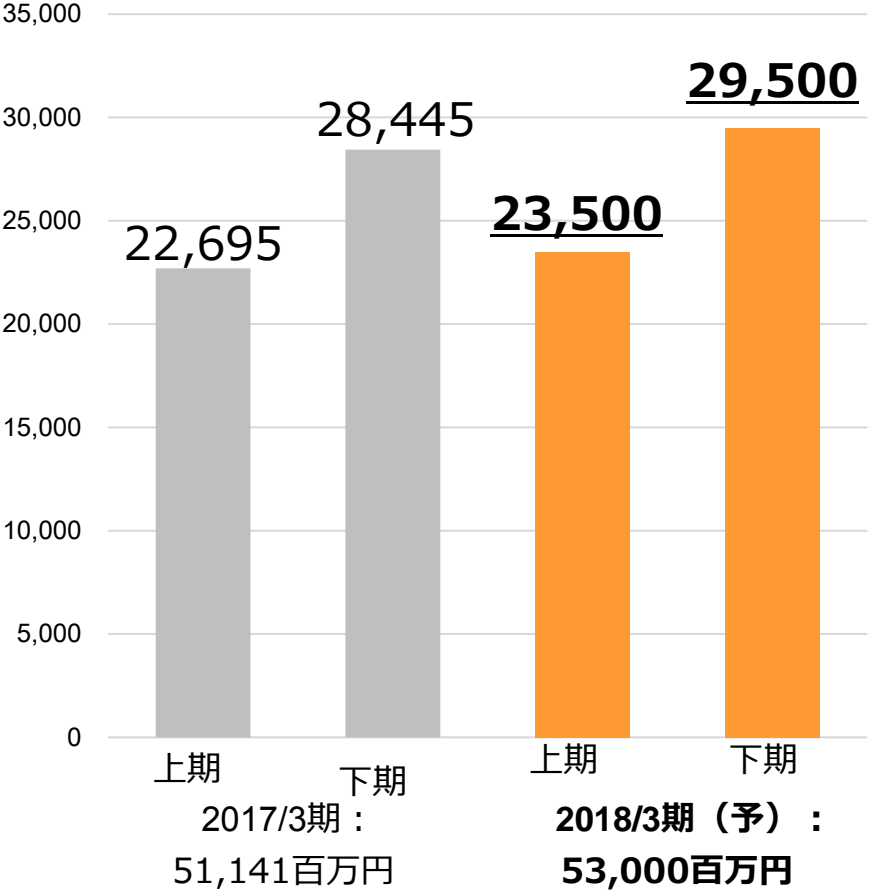
注 為替レート(2017年3月期→2018年3月期) :

USD 108.4円→**110.0円** CAD 82.5円→**80.0円** EUR 118.8円→**120.0円** RMB16.4円→**17.0円**

地政学的に不透明感はあるものの、グローバルで緩やかな成長を期待  
資源価格は戻り基調、鋼材の一段高を懸念

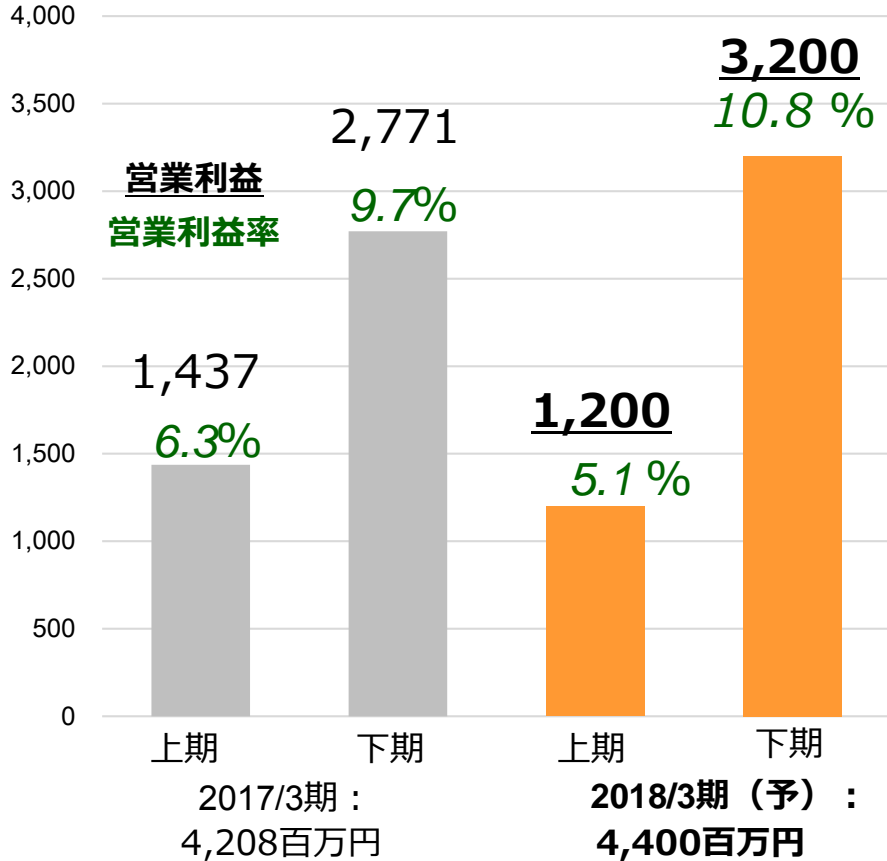
## 売上高

(単位：百万円)



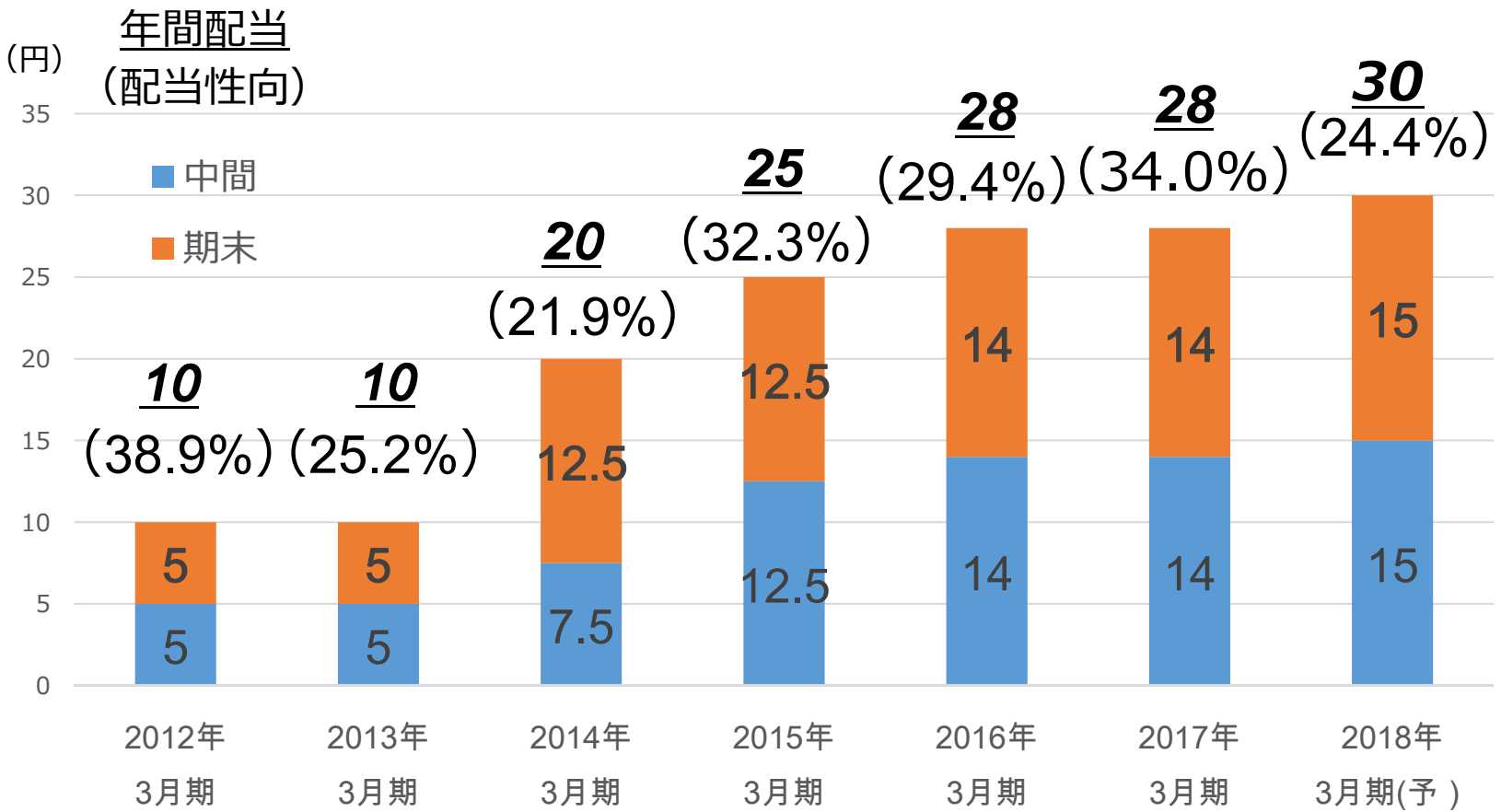
## 営業利益・営業利益率

(単位：百万円)



# 株主還元方針／配当予想

**配当性向20%以上を目処に  
年間配当額 30円 を予定**



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014年3月期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2018年3月期 第2四半期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

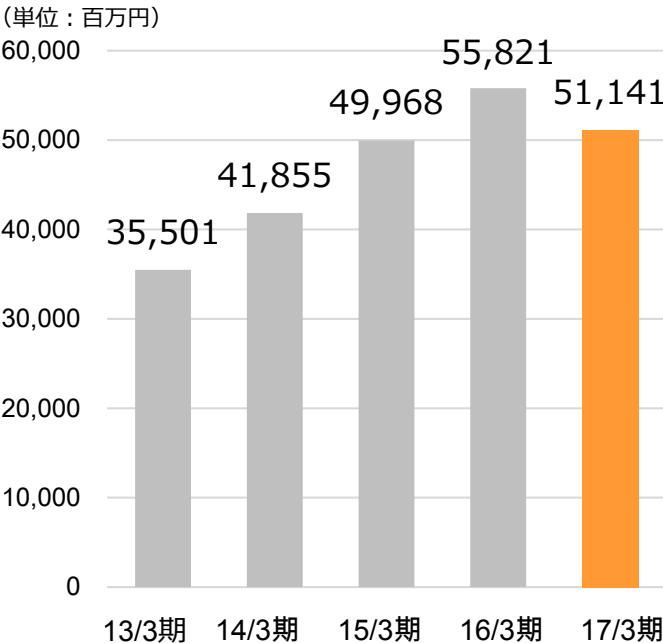
3

**参考資料**

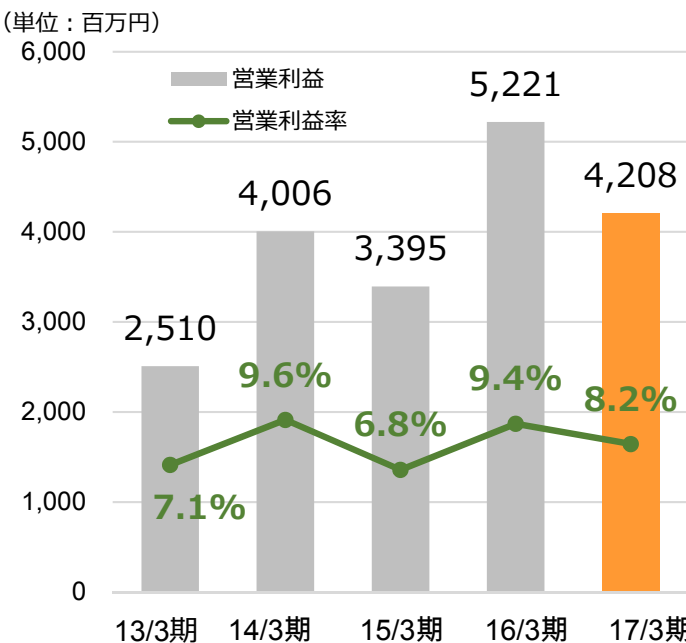
- 過去5期分の業績・財務情報（2013年3月期-2017年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 業績・財務情報

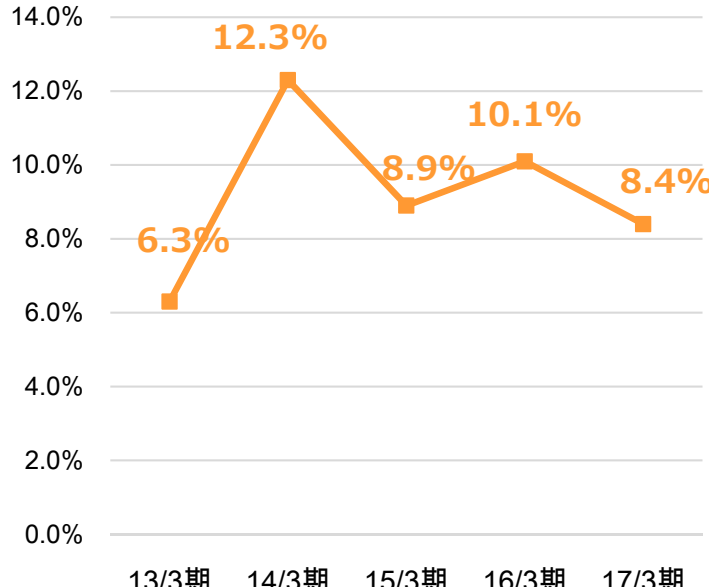
## 売上高



## 営業利益・営業利益率

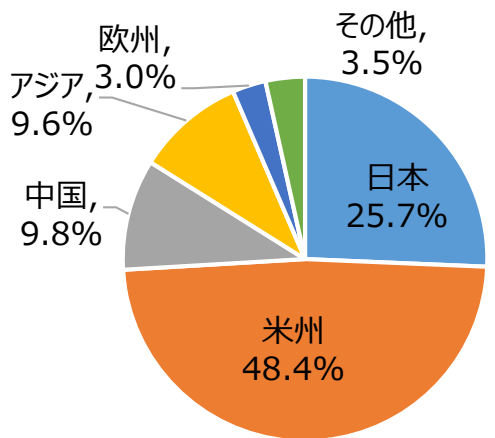


## ROE



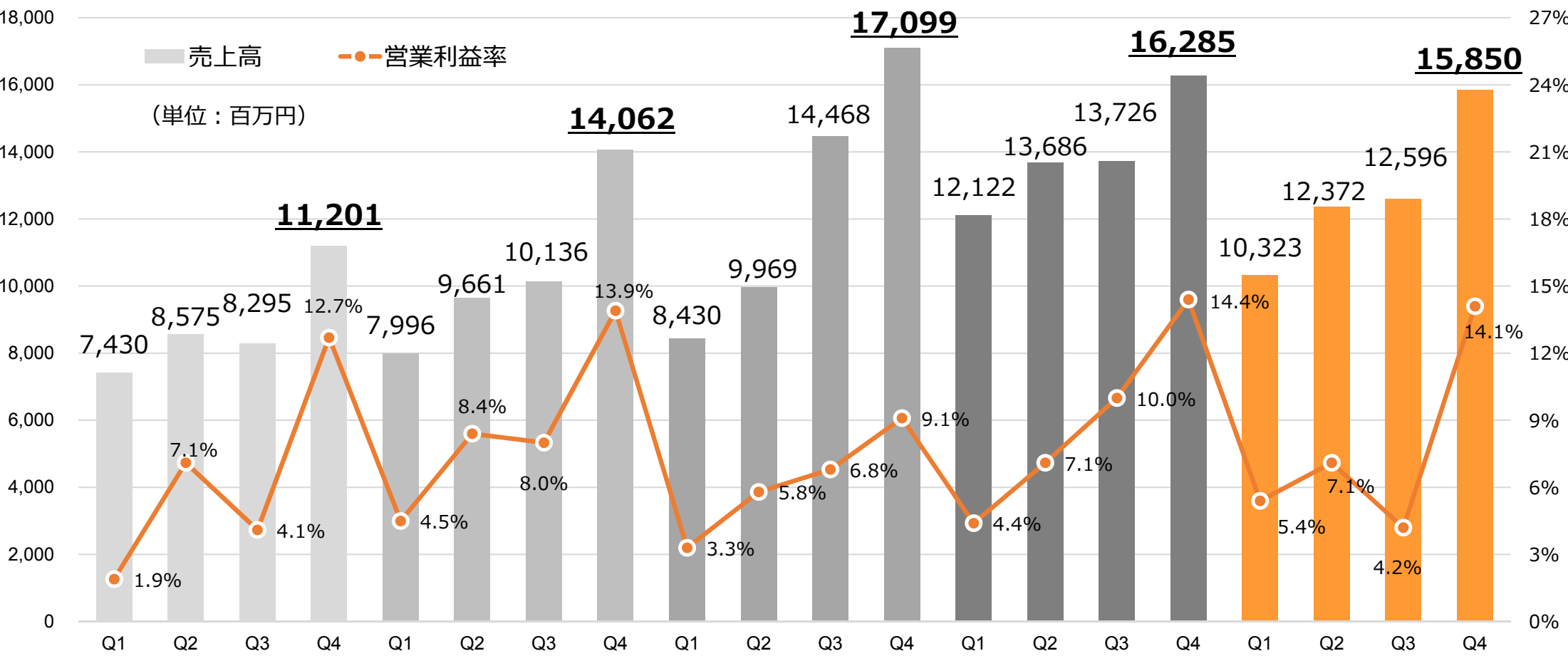
## 地域別売上高比率

(2017年3月期)



	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
海外比率	67.1%	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%
為替平均レート					
USD	83.1円	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円
CAD	82.9円	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円
EUR	107.1円	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円
RMB	12.6円	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円
設備投資額(百万円)	1,520	2,440	1,408	2,013	2,239
減価償却費(百万円)	774	954	1,311	1,814	1,792

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

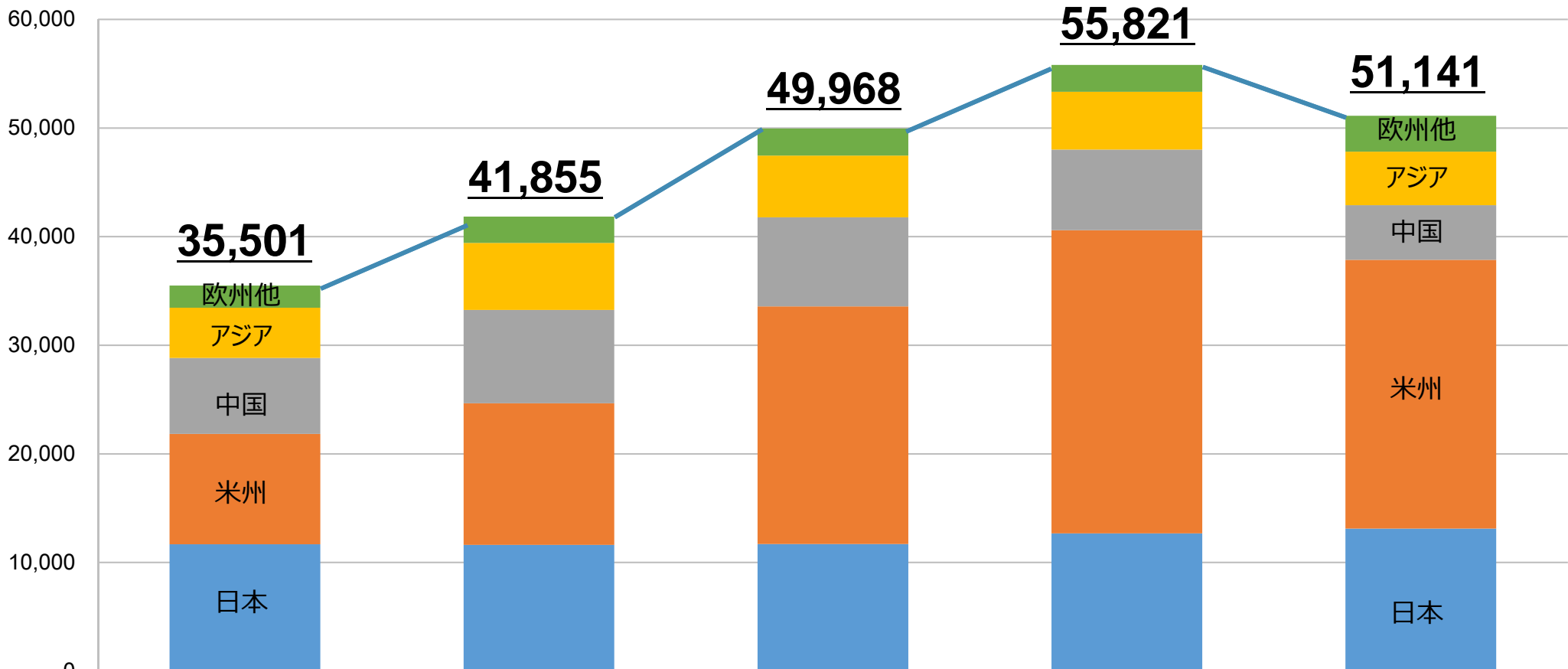


139	609	343	<b>1,419</b>	360	806	809	<b>2,030</b>	280	575	987	<b>1,553</b>	538	966	1,371	<b>2,345</b>	561	876	532	<b>2,239</b>
-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-------	--------------	-----	-----	-----	--------------

<b>2013/3期</b> 売上高 35,501百万円 営業利益 2,510百万円	<b>2014/3期</b> 売上高 41,855百万円 営業利益 4,006百万円	<b>2015/3期</b> 売上高 49,968百万円 営業利益 3,395百万円	<b>2016/3期</b> 売上高 55,821百万円 営業利益 5,221百万円	<b>2017/3期</b> 売上高 51,141百万円 営業利益 4,208百万円
--	--	--	--	--

# 地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
■ 欧州他	2,035	2,424	2,500	2,479	3,308
■ アジア	4,626	6,168	5,676	5,321	4,925
■ 中国	6,994	8,604	8,198	7,418	5,034
■ 米州	10,163	13,034	21,888	27,909	24,742
■ 日本	11,679	11,625	11,702	12,692	13,129

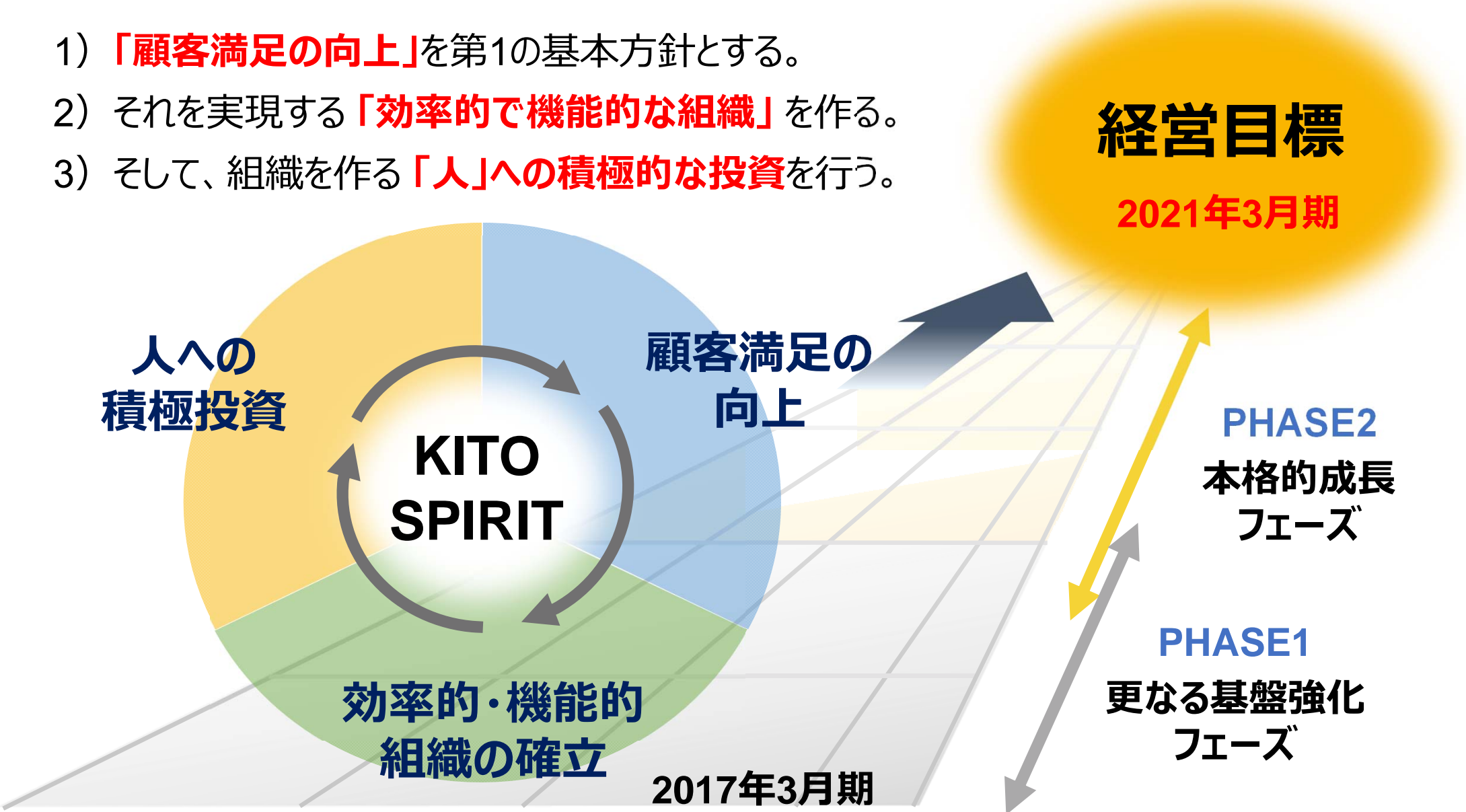


# 中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

# 基本方針

## 3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



## 3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

### Goal

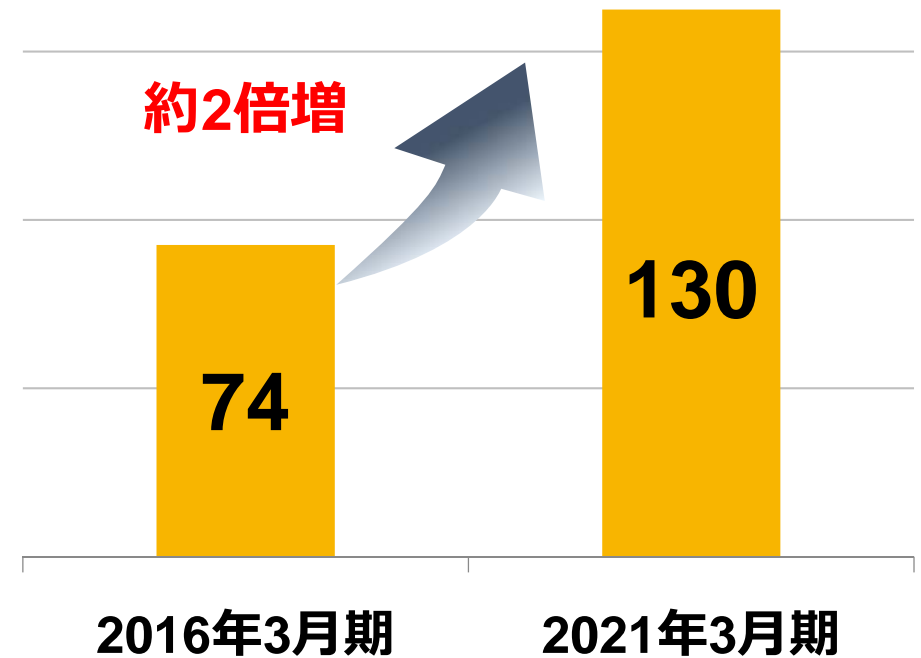
1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化

### Financial Target

EBITDA



(単位：億円)

“Lifting Expectations”

